

INTRODUCTION

日韓最強タッグで贈る、
ノンストップ・アクション
エンターテインメントの超大作！

ハリウッドでも活躍するマ・ドンソクが主演を務める韓国で最も人気の映画シリーズがユニバース化！『犯罪都市』シリーズの世界線と繋がる本作は、新宿中央署に所属する新人刑事が韓国の刑事とパディを組み、新宿・歌舞伎町で起きた集団強盗事件からはじまるヤクザ、ホスト、国際犯罪者、さらに国家権力も関わる巨悪に立ち向かう日本オリジナルストーリー。シリーズの魂を継承しつつ、日本ならではの要素を加えた極上のノンストップ・アクションエンターテインメント超大作！



STORY

東アジアの魔都・新宿歌舞伎町。肩で風を切って歩くその男は、新宿中央署の新人刑事・相葉四郎。歌舞伎町生まれ、歌舞伎町育ちの相葉は、元暴走族総長で腕っぷしの強さと血の気の多さからいつも問題ばかり起こしていた。ある日、国際手配中の凶悪な犯罪集団を追って、韓国警察庁の刑事チェ・シウが来日する。初日から相容れず一触即発になってしまう2人だったが、手配犯が歌舞伎町に潜伏しているとの情報があり、即席

のパディを組んで共同捜査を開始する。対立しながらも捜査を進める中、ある集団強盗事件をきっかけに武闘派ヤクザと歌舞伎町最大のホストグループが大抗争に発展。さらにそこに犯罪集団も参戦し、戦場と化した新宿が、混沌の闇に包まれていく。そして、その裏には国家権力も関わる巨大な陰謀が渦巻いていた――。

CAST



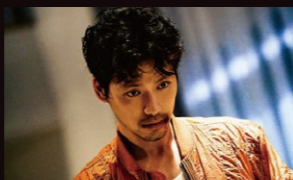
相葉四郎 役 **水上恒司**
新宿中央署・組織犯罪対策課の刑事



チェ・シウ 役 **ユンホ** (東方神起)
韓国ソウル特別市警察庁の刑事



キム・フン 役 **オム・ギジュン**
国際手配中の犯罪集団のメンバー



村田蓮司 役 **福士蒼汰**
国際手配中の犯罪集団のボス



小林清一 役 **渋川清彦**
新宿中央署
組織犯罪対策課・係長



西嶋拓也 役 **青柳翔**
新宿中央署
組織犯罪対策課の刑事



吉井みゆき 役 **ヒコロヒー**
新宿中央署
組織犯罪対策課の刑事



新宿中央署・署長司 役 **菅原大吉**
新宿中央署の
署長



チャン・イス 役 **パク・ジファン**
韓国ヤクザ



民和党・幹事長 役 **鶴見辰吾**
民和党の幹事長



岩城良平 役 **비에어滝**
岩城組・組長

STAFF マ・ドンソク アンシエイトプロデューサー **内田英治** 監督 **三嶋龍朗** 脚本 **小林洋平** 音楽

INTERVIEW

映画『TOKYO BURST -犯罪都市-』の公開を記念して、監督の内田英治さんにインタビューを行いました。



〔監督〕内田英治
映画監督・脚本家・小説家。ブラジル生まれ、日本育ち。2014年『グレイтフルデッド』で海外映画祭に進出し、2019年Netflix『全裸監督』で記録的視聴数を獲得。2020年『ミッドナイトスワン』で日本アカデミー賞9部門を受賞。2022年には世界三大ファンタスティック映画祭全てに出品する快挙を達成。2025年『ナイトフラワー』で優秀監督賞・脚本賞を受賞するなど、多彩なジャンルを手掛ける。

――富山県がロケ地となった決め手は？

これまでも短期の撮影で何度か訪れたことがあり、もともと好印象でした。様々なロケーションがある上に、空気が澄んでいて、滞在していて気分が良いですし、住民の心優しさを感じます。

長期の撮影では特に居心地が重要ですし、何より撮影の協力体制がしっかりしていて、他県では難しい撮影を可能にしてくれるところも魅力的ですね。

――富山ロケでの印象的なシーンは？

道路封鎖をして撮影した、城址大通りでのアクションシーンがとても印象に残っています。

――撮影時の印象深いエピソードを教えてください。

富山ロケシーンは全て、富山市内の中心市街地で撮影しました。ホテルから徒歩5分圏内で現場に通えるアクセスの良さと撮影のしやすさなど、撮影環境が整っていて快適でした。

また食事に行くと、誰もが撮影のことを知っていて、皆さん優しく接してくれました。場所によっては、撮影隊は忌み嫌われることも多いので、その優しさが身にしみて嬉しかったですね。

――富山県庁での撮影はいかがでしたか？

とにかく素晴らしい建物で画になります。また何度でもロケ地に使用したい！

――お気に入りの富山グルメはありますか？

たくさんありますが、いくつか挙げるなら「吟魚」で食べたノドグロやバイ貝、「糸庄」のもつ煮込みうどん、日本酒の「勝駒」ですかね。

――富山県のロケ地としての魅力は？

とにかく圧倒的な景色が魅力だと思います。撮影期間中によくランニングをしていたのですが、立山連峰を見ながらのランニングが最高でした。あの風景が当たり前のようにまちなかから眺められることは、もう羨ましさしかないですね。



富山県
ロケ地マップ
TOYAMA
LOCATION MAP

警察史上最悪のパディ



5.29 FRI

累計動員4,000万人越えの『犯罪都市』が、日本オリジナルストーリーでついにユニバース化

TLO 富山県ロケーションオフィス

発行年月：2026年5月

富山の真ん中が歌舞伎町に、 県庁が首相官邸になる



1 富山県庁
「首相官邸」としてクライマックスシーンに登場。平日の閉庁後の県庁前および庁舎内で、夜から翌朝までのナイト撮影が5日間行われた。

FILMING LOCATION

映画『TOKYO BURST - 犯罪都市-』の富山ロケは、2025年6月6日～17日に全てナイト撮影で行われました。東京新宿・歌舞伎町を想定して、富山市中心部で交通規制のもと迫力のあるアクションシーンが各所で撮影されました。



正門前
官邸敷地内に入っていき蓮司とキムを追う相葉たちがゲートで止められるシーン。正門やゲートを飾り、県庁前の道路を一時的に規制して撮影。



B 階段
正面ロビーから上に続く階段で、チェ・シウとキムが格闘するシーン。レッドカーペットを敷き、壁掛けの絵画や壺などを配置してアクションに使用された。



D 屋根
正面中央にある車寄せの屋根の上で、相葉と蓮司のアクションシーンを撮影。重機を使用したワイヤーアクションでの演出は迫力満点!



A 正面玄関
相葉とチェ・シウが警備警察を倒して中に侵入するシーン。車寄せに真っ赤なランボルギーニが乗り付けられる光景はとにかく貴重!



C 特別室
「内閣総理大臣執務室」として登場。ドアをぶち破り、室内で相葉と蓮司が格闘するシーン。撮影前から2週間ほど貸切り、扉や窓ガラスをアクション用に特別に設えて撮影。



E 正面玄関前
多数のバトカーとともに大勢の警官が集まり、事件が収束するシーン。警官やマスコミのエキストラとして、大勢の方々にご協力いただいた。



2 富山エクセルホテル東急



ホテルの裏道やロビーで、チェ・シウとキムが格闘するシーン。街なかの大通りに面して、広々としたロビーがあるシティホテルとしてロケ地に決定。



3 城址大通り



新宿の大通りとして登場。相葉、チェ・シウ、警官たちが自転車で道路を逆走し、蓮司とキムを追うシーン。2日間に渡り、午後から翌朝まで道路封鎖をしてナイト撮影。



4 マツダガーデン



歌舞伎町にある花屋として登場。店の裏口から出てきた外山が蓮司に襲われるシーン。正面も裏口も繁華街に面し、店内シーンと合わせて店先でアクションシーンを撮影できるとロケ地に決定。



5 桜木町 第一三愛ビル



歌舞伎町最大のホストクラブ「ドリーミング」の外観。蓮司とキムが店前で警備員たちを襲うシーン。

LOCATION MAP



私有地への無断立ち入りはご遠慮ください。ロケ地へ訪れる際は、騒音やゴミのポイ捨てなどがないように、マナーに十分ご注意ください。